



1. 3 学期始業式 (総務課より)



1月8日(月)3学期始業式が行われました。始業式では校歌斉唱をした後、校長先生より新年早々におきた北陸の震災や羽田空港での事故に触れ、全員無事に3学期をスタートできたことに感謝し、今を大切にしてほしいというメッセージが送られました。また、この日が成人の日であることから、成年年齢引き下げにより18歳から



成人になることで、できることが多くなる分、責任が増えるため、18歳になる高校3年生は特に自由と責任について考える機会を作ってほしいというメッセージも送られました。本校の校章には、ラテン語で DISCENDO・CRESE (ディセンド・クリーセ) という School Motto (校訓) が書かれています。その意味するところは、By Learning, you will grow. (学ぶことを通し、人は成長する) というもので、この言葉のように、3学期は研修旅行等の行事での学びを通して、次のステージへステップアップできる準備を期待しています。

2. 1 日遠足 (渉外課より)



1月15日(月)1日遠足がありました。イギリスの象徴であるビックベンを擁する国会議事堂で90分のツアーに参加し、現地ガイドの方から建物の歴史やイギリスの政治・歴史に至るまでを学びました。ツアーでは下院と上院議事堂にも訪れ、訪問当日午後にはスナク首相が来て議事が行われる予定だと伺いました。



その後、首相官邸やホースガーズ(衛兵詰め所)などを徒歩で見学しながらトラファルガー広場へ移動し、昼食休憩を挟んで午後にはウエストミンスター寺院のセルフガイドツアーをしました。美しいゴシック建築のウエストミンスター寺院は、昨年5月チャールズ国王の戴冠式が行われたことでも有名ですが、歴代イギリス君主たちだけでなく、ニュートンやダーウィン、シェークスピアといった歴史に残る偉人たちのお墓もあります。生徒たちは、イギリス政治や歴史を担ってきた場所に触れ、大いに見分を深めたようでした。



3. バーナムクラマースクール訪問 (渉外課より)



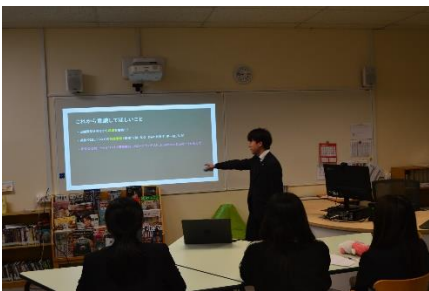
学園では Japanese Day と言って、Burnham Grammar School の7年生 (11-12 歳) を招き、日本文化を紹介する行事が毎年あります。今回は逆に本校の生徒がこの Burnham Grammar School に招待され、現地校の授業風景を見学する Burnham Day が1月29日 (月) に行われました。

本校の生徒3人が10グループに分かれ、現地校の生徒の案内で3コマの授業を見学しました。授業には科学、数学、ドイツ語、フランス語、スペイン語、国語、ドラマ、音楽、地理、歴史、ビジネス、宗教などがあり、初めて現地校の授業を見学した本校の生徒たちは、緊張して臨みました。現地校の英語での授業を目の当たりにし、もっと英語を学習しようと思う良い機会になったようです。



4. 受験報告会 (進路部より)

生徒たちが進路や将来を考える良い機会となるよう、進路指導部では今年度3回にわたるキャリアガイダンスとして「在英保護者と語る会」「先輩と語る会」「卒業生と語る会」を企画しています。その第2弾として、過日、高校3年生の受験報告会を行いました。3年生は進路選択のきっかけや理由、受験準備、志望理由書の書き方といったことを話し、1.2年生からもたくさんの質問が出ていました。受験という大変な山場を乗り越えた3年生だけあって、1.2年生の目線を大切に、分かりやすい説明がなされ、6名それぞれの持ち味が出た報告会となりました。実施後のアンケートでは、資格試験や学園生活の充実、成績向上などといった、今やるべきことが分かったという感想などが1.2年生から聞かれました。



5. 家庭基礎 能登半島地震チャリティーケーキセール (家庭科より)



家庭基礎の授業では、2024年元旦に能登半島地震が起き、今私たちにできることは何だろうと話し合い、カップケーキ、クッキー、カステラを作って販売し、その売り上げを被災した人たちのために寄付することにしました。以前調理を行った時よりも、協力したり声を掛け合ったりする姿が増え、スムーズに調理することができ、£121.95の寄付が集まりました。



6. 2年生職場体験後半（渉外課より）

昨年11月から始まった2年生（アートコースを除く）の職場体験を1月から再開し、1月25日（木）で全6回の体験を終えました。生徒によって職種は違いましたが、それぞれ仕事を終え、大きな達成感を感じたと思います。仕事をするの大変さ、英語で知らない人と会話を続けることの難しさなども学んだことと思います。皆さんお疲れさまでした。

今学期の職場と仕事内容

Pre school Stars : 託児所でのアシスタント Cliveden : National Trust の保有地でのガーデニング
Pioneer High School: 高校の先生のアシスタント Oxfam : チャリティーショップのボランティア
St Bernard's School : 日本語を学ぶ高校生の授業のアシスタント
Thames Hospice、Rennie Grove Hospice: チャリティーショップのボランティア
Gerrards Cross Library: 図書館のアシスタント



7. IBDP 授業スタート（IB コーディネーターより）

IB Diploma Programme Journey

今年の1月、IB ディプロマプログラム（以下IBDP）がついにスタートしました。これにより、新たな学習の旅（IB では Journey と表現します）が始まりました。

IBDP は厳格な学習プログラムで知られており、選択した生徒たちは少数ながらも、意気込みと期待に溢れています。これはまさに、小規模ながらも質の高い教育への挑戦です。IB 生たちは、議論や学習活動を通し、プログラムの奥深さに挑戦しています。

この小規模な環境での学びには、生徒たちにとっては個別のサポートが得られる利点があります。生徒たちはお互いに協力し合いながら、先生たちとも密なコミュニケーションを図り、課題に取り組んでいます。1期生がIBDPのJourneyをどのように歩いていくのか、今後の展開に期待が高まります。

【Japanese A 授業風景】

Japanese A では、夏目漱石著「こころ」を学んでいます。主人公「私」の視点を通して覗き見る作品の世界を、読者（受け手）はどう理解しているのか。また読者が違えばその理解は違うのか。映画のポスターや本の表紙などを比較しながら探究しています。

【English B 授業風景】

In this class, the main goal is for students to demonstrate their understanding of their first literary text. We are also sharing our opinions about some of the issues raised by the story and learning how to highlight key words or phrases to support our ideas.



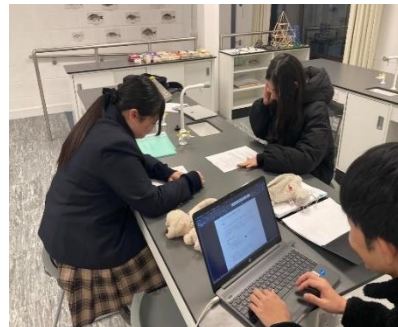
【Maths 授業風景】

IB の Maths は英語で学習します。図形の面積や、体積の英語での表現を、互いに問題を出し合いながら確認しています。また、指数法則と表記法の学習に動画を使用して学習したり、グラフ電卓の使い方も学んだりしています。



【Biology 授業風景】

各セクションの小テスト後に、IB 生自身で選んだテーマで議論を繰り広げています。議論後は録画したものを文字起こしし、全員で共有することで、学習の振り返りを行っています。



8. 生徒会企画餅つき大会 (生徒会より)



1月8日(月)に新学期が始まり、その日の放課後に恒例の生徒会主催餅つき大会を行いました。今年も良い1年が過ごせるよう、願いを込めて全員が餅をつきました。その後つきたてのお餅を餡子やきな粉や海苔と共に堪能しながら、久しぶりに出会った仲間と歓談し、幸せな時間を過ごしました。平和な一年となりますように！



9. 生徒会校歌プロジェクト (生徒会より)



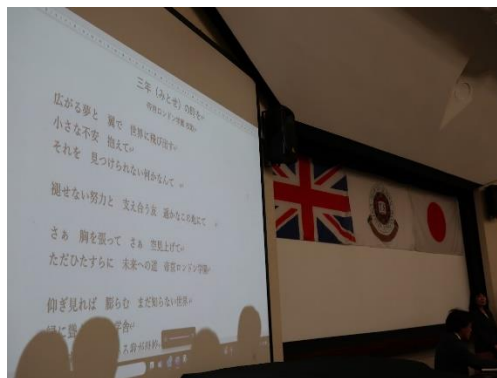
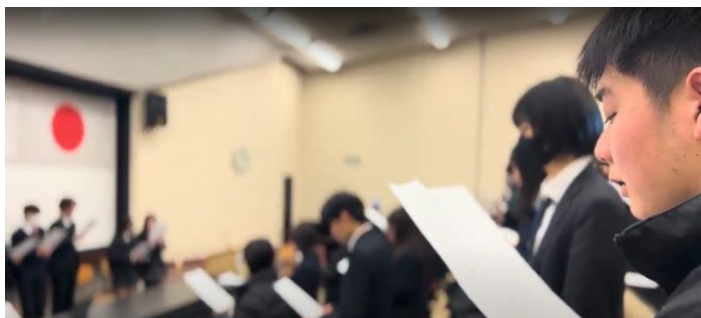
昨年12月7日(木)に校歌を全校生徒に初披露し、全員で新校歌の練習をしました。約1年に及ぶ校歌制作を振り返ると、とてもうまくいったプロジェクトだなと感じます。当初はうまくいかずに止まってしまうのではないかと考えることもありましたが、そういうことはなく、最終的にはみんなで校歌を作り上げることに成功しました。校歌制作の過程では、生徒会のメンバーだけではなく、全校生徒、先生から、校歌にふさわしいフレーズを募集したり、募集したフレーズを生徒会のメンバーでまとめたり、これらを参考にして作曲家の山本さんが作ってくださったメロディに言葉を乗せたり、歌を収録したりと、たくさんの段階がありました。

全校生徒に校歌を公開した際、私は一つ心配していたことがありました。私率いるこの校歌プロジェクトに参加した人は何が大変だったか、何をしたのかをよく分かっているからこそ、その達成感とともに、愛着がわいていると思います。だから、これがこの帝京ロンドンの校歌と言われても何の疑問もありませんが、初めて聞く生徒がこの校歌をどう思うかがわからなくて少し怖かったです。しかし、生徒のみんなは最初から最後まで静かに聞いてくれて、そして初めて聞いたにもかかわらず、みんなそれぞれが声を出して歌ってくれました。その時、とても嬉しくて、頑張ってきてよかったと思ったことを今でも覚えています。

個人的に校歌の中で好きなところは、最初の「広がる夢と翼で世界に飛び出す」です。これはこの学校に入学した自分たちを表していて、「世界に飛び出す」というのは英国にある帝京ロンドン学園に入学す

ることを表すような言葉でお気に入りです。校歌のポイントは、この校歌のタイトル「三年（みとせ）の時を」とあるように、一番、二番、三番で高校三年間を表しているところです。

校歌制作は生徒会に入って一番大きなプロジェクトでした。それを何の問題もなく、約1年間で完成させたのは、本当にみんなのおかげだと思います。（前生徒会長）



10. エコ委員会ゴミ拾いボランティア（エコ委員会より）



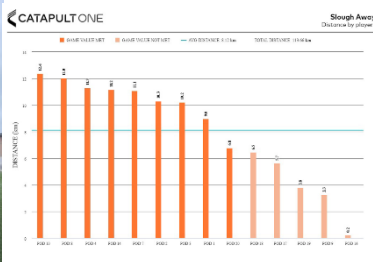
1月20日（土）、エコ委員会の生徒たちと有志の生徒たち7名が、学園近くの Gerrards Cross で行われた、地域のごみ拾いに参加しました。

← 参加報告ポスター（2年生徒作）

11. 各コースより

サッカーコース

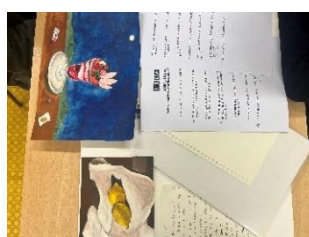
本校生徒が参加している Tactic League も終盤に差し掛かってきました。先日行われた試合では、本校2年生徒が決勝ゴールを決めるなど、それぞれの選手が活躍を見せてくれました。また、試合中選手は CATAPULT というGPS装置を付けてプレーしており、これにより走行距離やスプリント回数などを計測しています。このように試合後には映像だけでなくデータなどを活用しながら、振り返りを行っています。決勝ゴールシーンはこちら→ [ゴールシーン](#)



アートコース

今学期最後の芸術鑑賞では、ロンドンにある The Arts of Banksy 展に行きました。パレスチナ問題や反資本主義などの政治的メッセージや問いかけを我々観る者に発信するバンクシー作品を前に、感想や意見を交わしながら鑑賞を楽しみました。また、スペインの研修旅行の事前学習として、制作しているガラスのモザイク画が徐々に完成に近づいてきました。

ISCA によるアート&デザインの冬休み明け初回授業では、1年生は冬休みの宿題課題のプレゼンを行い、コースワーク課題に入り始めました。2年生は3月初めに IGCSE-ファッション&テキスタイルの試験があるため、コースワークの提出作品の完成に向けて、日々刺繍を行っています。並行して、ファッション&テキスタイルの試験テーマが発表され、自分のアイディアをどのように表現していくか先生からのアドバイスを受けつつ、模索し始めているところです。



12. 寮便り

特に日本から帰寮した寮生については、いつも以上に負担がかかることになりましたが、おかげさまで、ここまでの約3週間、みな非常に落ち着いた日々を送ることができています。加えて、週末外出やイブニングアクティビティ等、学外での学びが先学期よりも積極的な印象があるとともに、帰寮後の自学自習にグッと精を出すようになった者もいて、頼もしいと感じる場面が増えてきました。一方で、このメンバーで過ごすことができるのもあとひと月余りです。一日一日を大切に、かけがえのない時間となるよう、引き続き支援してまいります。



13. 保健室より



新学期が始まり、特に日本から戻って来た生徒たちは時差ぼけが続いている様子もありましたが、例年のこの時期に比べると、保健室の利用者も少なく、概ね皆が元気に過ごせています。短い3学期ですが、皆が充実した学園生活を送れるように、引き続き保健室でもサポートをしていきたいと思ひます。

***** 今月の一枚 *****



感じて、学ぶ。

帝京ロンドン学園の Instagram は [コチラ!](#) ▶▶▶



編集後記

2024 年が始まりました。
空高く昇っていく龍のごとく、
今年が学園生にとって
大きな飛躍の年と
なりますように。

